

住宅地のコミュニティデザイン

- 誰からはじめる、どう進める -



少子高齢化とライフスタイルの多様化に伴い、既存の住宅地におけるコミュニティの機能および構造は、その再構築が喫緊の課題として認識されています。本シンポジウムでは、多様な主体によって展開されている活動事例を共有するとともに、「誰が」取り組みの初動を担い、「いかに」持続可能なコミュニティデザインを実現し得るのかについて、その具体的な論点と実践手法を深く考察します。

2026

2.4 wed 18:00 - 20:40

会場

オンライン開催

ZOOM ウェビナー

定員

300 名 (先着順)

参加費

都市計画学会会員 (賛助会員含) : 無料
学生 : 無料
一般 (非会員) : 1,000 円

申込

Peatix により申し込み
<https://cpijkansaiikikaku20260204.peatix.com>



プログラム

18:00 - 開会挨拶・登壇者紹介

18:10 - 基調講演



まちの主(あるじ)達のこれまでとこれから
-千里ニュータウンの30年から-

鈴木 毅 氏 (千里ニュータウン研究・情報センター共同代表)

18:40 - 実践事例の共有



地域資産を「新しいコモンズ」に変える
- 公益信託を活用した自治型社会モデルの構築 -
宝楽 陸寛 氏 (公益財団法人泉北のまちと暮らしを考える財団 代表理事)



市民と行政の協働による活動基盤の創出

佐伯 亮太 氏 (播磨町まちづくりアドバイザー / 合同会社 Roof 共同代表)



民間事業者が参画する地域再生

熊谷 一義 氏 (パナソニック ホームズ株式会社)

19:25 - 休憩

19:35 - パネルディスカッション

活動の始動における担い手と
活動の持続性を確保するための仕組み

登壇: 鈴木 毅 氏、宝楽 陸寛 氏、佐伯 亮太 氏、熊谷 一義 氏

20:35 - 閉会挨拶